



# かすりすと

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。



太宰府市在住  
井村 敏代さん

## THE KASURIST 私の流儀

紺を愛し、独自のこだわりを持つ人々を  
シリーズで紹介します

井村さんが、紺に興味を持たれたのは約10年前。太宰府天満宮の参道で「おもしろ市」を見て以来だそうです。

最初は端切れや古布を使って小物中心に自己流で、最近では5〜6着、エプロン、もんぺ、コート、ワンピースと大物にも挑戦していらっしゃるようです。「私は洋裁の経験もないので、すべて自己流。昔の紺をほどこいてつなぎ合わせていくと、どんどん夢がひろがっていくんですよ。今年の紺ファッションショーに初めて出て、大変楽しかったですね。海外に行ったときも外国の人は、紺にものすごく反応するんですね、紺の魅力は『和のヴィトン』ではないかと思っています」。

今年自宅でガーラージュも開催。これまで作った小物や洋服を中心に友達に案内、評判がよかったそうです。「月一回パッチワークで小物づくりのサークルをはじめたんです。パッチは張り合わせに個性が出て大変楽しいですね。これからいろんな物に挑戦して『井村ブランド』を創りたいですね笑」。

奥深く「はい、これでよし」という到達点のないものに魅かれるという安松さん。ヨットにシャンソン、陶芸…と幅広い活動をされるなか、「能」はなんと二十六世観世宗家・勘世清和の直弟子の称号をもらったほど。3月に行われた紺のファッションショーで能の衣装を紺でつくり「仕舞（しまい）」を披露。周りからも好評だったそうです。「能も紺も日本の伝統美という点では共通点がありますよね。そして久留米かすりを衰退させたくない、そんな思いでかすりをすこし取り入れました。僕はよく紺であしらったベストを着用します。こだわりなどはありません（笑）中学生の頃、母親から着せてもらった紺地に白の水玉模様の着物が今でも忘れられない、そうやって日本人の心には「紺」が残っているという安松さんです。

久留米市諏訪野町在住  
安松 正美さん



## CONTENTS

1p THE KASURIST～私の流儀～

2p 久留米かすり秘話 vol.1  
かすりすと『ほとめき通り』夜市散策  
かすりすとの集い『ほとめき通り』交流会

3p 紺織元登場  
山村健藍染工房 織元 山村健さん  
藍生庵 織元 松枝哲哉さん

・かすりたまご展

4p Pro-shop of Kasuri Style  
・紺着こなし術 檜原亜希さん  
・地場産くるめSHOP INFORMATION



久留米かすり秘話  
VOL.1

## 『藍くすくも』

久留米かすりの基本染料となる藍くすくもは、現在、阿波徳島が主産地ですが、久留米かすりが誕生する以前から久留米では栽培されていました。明治38年(1898年)の『八女郡誌』では、その昔「筑後藍」の名称で日本の藍栽培の始まりは筑後であると、記されています。その歴史は約350年前頃(17世紀中頃)と推定され、有馬藩が久留米に導入した頃にはじまりま

す。その証拠に大名家である有馬家では代々産着の紋が藍染めだったそうです。

現在の三井郡大刀洗町一帯には良質の藍が採れることで有名で、筑後川中流域の現在のうきは市、久留米市田主丸町一帯は洪水による肥沃な「垢土」が藍の栽培に適していました。さらに藍生産者には運上銀が賦課されていたそうです。藍は米に次ぐ有馬藩の主産業だったのがうかがい知れます。またこの地域で生産される久留米藍の品質は当時阿波藍に次ぐものと称されていました。久留米かすりの生産が最盛期を迎える明治初年頃から生産量に対して藍の生産が追いつかず、以降品質がよいにも拘わらず、阿波藍が主流を占めるようになりました。



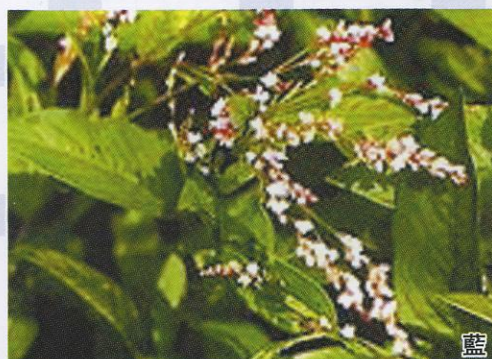
すくも

久留米かすりの誕生に久留米藍が果たした役割は大きく、質の高い染織工芸品を生み出した素材としての「久留米藍」の存在は大きかったことがわかります。

参考文献

・久留米絣 絵絣の技術と技法／松枝哲哉 著

・八女郡誌



藍



藍の花

## かすり 絣を着て夜市を散策しませんか

日程:平成19年7月7日(土)七夕の日

時間:19:00 集合(筑後よかもん倶楽部前)

↳ ほとめき通り散策

20:00 かすりすと交流会【光華楼にて開催 要:事前予約】

受付開始日:平成19年6月15日(金)

受付締切日:平成19年6月30日(土)

申し込み方法:住所、氏名、電話番号、かすりすと交流会参加を明記の上、官製ハガキあるいはFAX(0942)43-1020まで

会費:3,000円

場所:光華楼 久留米市六ツ門20-18 TEL(0942)32-7575

主催:久留米かすりファン倶楽部「かすりすと」

事務局:(財)久留米地域地場産業振興センター

お問い合わせ:TEL.(0942)44-3700

【参加対象】「かすりすと」会員

【特典】土曜夜市開催期間の毎週土曜日に、協賛店でかすりすと会員証をご提示いただくと、お買い物・お食事の際に割引などの特典があります。

かすりすとの集い  
『ほとめき通り』交流会

平成19年6月23日(土)～7月28日(土)

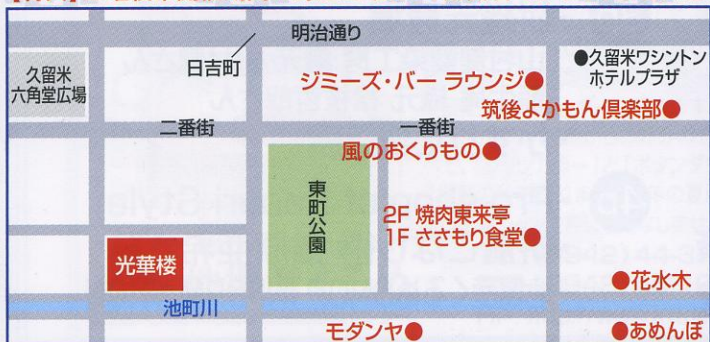
土曜夜市開催期間の毎週土曜日

(6月23日、30日・7月7日、14日、21日、28日の計6日)

ご自由に散策ください

かすりすと

『ほとめき通り』夜市散策



かすりすと協賛店

## ■池町川倶楽部

- ・ジミーズバーラウンジ 10%off
- ・もつ鍋あめんぼ 小鉢一品サービス
- ・ささもり食堂 10%off
- ・焼肉東来亭 10%off
- ・モダンヤ 10%off
- ・花水木 10%off

TEL.(0942)34-7364

TEL.(0942)35-3125

TEL.(0942)36-0581

TEL.(0942)39-0131

TEL.(0942)38-0348

TEL.(0942)33-7804

## ■風のおくりもの 10%off

TEL.(0942)46-4767

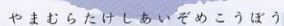
## ■筑後よかもん倶楽部

10%off(酒類を除く)

TEL.(0942)80-1611



かすり



3



# Pro-shop of Kasuri Style (株)オカモト商店



岩田屋久留米店新館2F

「儀右エ門」ブランドでお馴染みの(株)オカモト商店は、久留米かすりの産地問屋として太平洋戦争終結後、久留米の地に創業しました。現在、直営の岩田屋久留米店新館2Fにある「儀右エ門館」をはじめ、デパートを中心にインショップを全国21カ所に展開していらっしゃいます。取締役商品統括部本部長の野口英樹さんと販売促進担当の原 喜香さんにお話を伺いました。

「柄づくりからデザインすべて自社でやっています。紺は藍が定番ですが、着る楽しさを出すために色・柄ともアバンギャルドな紺もたくさん作っています。店舗が多くなってきたと同時にお客様と作り手とを結ぶ季刊情報誌『Moyai』(共有するという意味)を8年前から作っています。最近カタログスタイルにリニューアルしました。季刊で、その季節感を感じる紺を紹介しています。紺は久留米人のアイデンティティではないかと思っています。もっと着て欲しいし、花火大会や夜市に紺のゆかたっていいですね。」

これからの季節、儀右エ門ショップでは夏の紺を数多く展示しています。最寄りのショップをご覧ください。案内はホームページで。



情報誌「Moyai」



野口本部長と原さん

久留米市日吉町12-12 TEL0942-32-6579 (代)  
<http://www.giemon.com>

## 自分が着たいと思う「紺」を学生と一緒にめざしています。着こなし術



香蘭ファッションデザイン  
専門学校 専攻科2年担当

榎原亜希さん

福岡市中央区大手門2-10-5

TEL. (092) 751-1331

<http://www.koran.jp>

すが、柄のデザインに挑戦したいと考えています。私個人は、最近きものに興味がありまして、帯結びや着付けも勉強しています。外国ではきものは民族衣装ですね。紺を着るならきもので、しかも藍染めのきものを是非創りたいと思います。(談)

※写真は紺を自由に採り入れた学生さんの作品



学生さんの感覚はすごく今で、デザイン性を重視した作品が多く、これが紺と言った声が多く、出来上がった作品は大変評判がよかったですね。私自身はパターンや縫い方が専門なんです。次は紺の経糸、緯糸の関係は大変難しいです。紺の小径のイベントで作品発表を兼ねて展示させていただきました。紺を洋服全体で使うと予算的にも高額になるので部分的に紺を使用することで紺に対する思いや愛着感がだせたらと思います。

個人的には、紺は「きもの」で着たい！  
私が紺と本格的に関わったのは「サマーファッションショー」という学校のイベントで「メイド・イン・香蘭」というコンセプトで紺を使ったのがきっかけです。地場産くるめとの関わりもこのイベントが縁です。ここでのテーマは「自分たちが着たい紺服」なんです。昨年9月から作り始め、11月の紺の小径のイベントで作品発表を兼ねて展示させていただきました。紺を洋服全体で使うと予算的にも高額になるので部分的に紺を使用することで紺に対する思いや愛着感がだせたらと思います。



たり、産業科は洋服メーカーに生地を提供してもらい、いろんなデザインを考える勉強をしています。

今、学校では、出来るだけ地場の物を使って洋服をつくりたいという思いから、専攻科2年で久留米かすり、3年生で博多織を勉強します。他にデザイン科はリフォームやリメイクなど環境や体に優しい服を勉強し

着こなし術

## 地場産くるめSHOP INFORMATION

### セミオーダー「紺半袖シャツ」

この夏、格調あふれる「久留米かすり」をオシャレに着こなしてみたいという方、地場産くるめの「紺半袖シャツ」はいかがですか？綿100%なので肌にもやさしく、着心地が抜群！通気性のよい紺生地はこれからの季節に最適です。既製服の他に6月30日までの限定でセミオーダーもできます！生地は約100種の紺生地からお好みのものを選んで、「シャツカラー」と「ボタンダウン」の2種類の衿で作れます。今年の夏は、自分だけの紺シャツを粋に着こなしませんか。

セミオーダー  
特別受付 (6/30迄)

・シャツカラー  
・ボタンダウン  
共に¥16,590~



男性用

女性用



※展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。



ふるさと「頑張り屋」です！

地場産くるめ

財団法人久留米地域地場産業振興センター

TEL. (0942) 44-3700

FAX. (0942) 43-1020

HP. <http://www.kttnet.co.jp/jibasan>